

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（597））
2. 日時：平成30年1月16日 14時00分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室
4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

川崎安全管理調査官、津金管理官補佐、義崎管理官補佐、秋本安全審査官、田尻安全審査官、照井安全審査官、日南川安全審査官、正岡安全審査官、村上安全審査官、吉村安全審査官、関根技術研究調査官、千明技術研究調査官、宇田川原子力規制専門職、郡安技術参与、竹内技術参与、山浦技術参与、高嶋原子力規制専門員

（原子力規制部 審査グループ 地震・津波審査部門）

植木安全審査官

（技術基盤グループ 地震・津波研究部門）

森技術研究調査官、堀野技術参与

事業者：

日本原子力発電株式会社：開発計画室 室長代理 他30名

東北電力株式会社：原子力部（原子力運営） 担当 他1名

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 設備技術グループ 担当 他1名

中部電力株式会社：原子力部 設備設計グループ 副長 他1名

北陸電力株式会社：志賀原子力発電所 発電部 放射線安全課 担当

中国電力株式会社：電源事業本部（原子力電気設計） 副長 他1名

電源開発株式会社：原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当 他1名

5. 要旨

（1）日本原子力発電から、本日及び1月11日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る説明スケジュール及び当該申請書の放射線管理施設の要目表等について、説明があった。

（2）原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

【放射線管理施設関係】

○格納容器雰囲気放射線モニタ（S/C）が溢水防護区画外となる理由を整理して提示すること。

○溢水防護上の配慮が必要な高さについて、溢水防護対策と整合していることを整理して提示すること。

○格納容器雰囲気放射線モニタ（S/C）等の設置個数の設定根拠を具体的に記載すること。

（3）日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

・ 東海第二発電所 工認ヒアリング 年間説明スケジュール表（案）